

協同組合 千葉電設協会

だより

～創立50周年記念特集号～



平成27年5月29日 創立50周年記念写真
ホテルポートプラザちばに於いて
後列 青年部役員
前列 協会理事役員



発行所 協同組合 千葉電設協会

千葉市中央区栄町24-9

TEL 043-222-7491

FAX 043-222-9837

発行責任者 小川 力
編集責任者 好地 庸夫

基本理念

業界の発展並びに 組合員の社会的地位の
向上に努め 研鑽と融和を図り
一視同仁の精神をめざすと共に
企業の健全なる経営体制を促進し
その成長発展により 地域社会に貢献する

編集後記

今年で太平洋戦争終結から70年、協同組合千葉電設協会が発足してから50年、そして千葉電設協会だよりの発行も30年を迎えました。

ご多忙中の中、多くのご寄稿そしてご協力をいただきました皆様、誠にありがとう御座いました。太平洋戦争終結から70年、終戦を迎え日本が今の様になっていくと誰が予想できたでしょうか。協同組合千葉電設協会が発足してから50年、電気工事業界が今の様になると誰が予想できたでしょうか。時代とは凄いものです、千葉電設協会だよりの創刊号の頃はおそらく手書きで原稿を頂いていたと思いますが、今はパソコンが普及し、電子データでのやり取りが主となり便利になっています。

今年度から新理事となった私も、今まで苦勞を重ねて築き上げてこられた方々に敬意を評し、これからの協同組合千葉電設協会の発展に微力ながら力添えが出来ればと思っております。

(好地 庸夫)

目次

ご挨拶	千葉市長	熊谷 俊人	1
創立50周年を祝して	千葉県中小企業団体中央会 会長	平 栄三	2
新たな公共施設のあり方とマネジメント	千葉市都市局建築部 部長	池田 典夫	4
道路インフラの適切な維持管理について	千葉市建設局土木部 部長	佐藤 寿之	6
道路施設等の適切な維持管理について	千葉市建設局土木部 緑土木事務所 所長	長嶋 條	8
最近の建築設備課の状況	千葉市都市局建築部 建築設備課 課長	傘木 雅治	10
浦島太郎りハビリ中	千葉市都市局建築部 建築設備課 主査	石橋 智幸	12
名前	千葉市住宅供給公社 施設管理グループ 住宅保全係長	齋藤 雅史	14
創立50周年に寄せて	元 千葉市都市局建築部 部長	金井 一男	17
支えられし日々感謝	元 千葉市都市局建築部 部長	古内 博道	19
節目の年	(協)千葉電設協会 顧問 (株)光栄電設工業)	好地 宏	22
新任ご挨拶 (50周年を迎えて)	(協)千葉電設協会 理事長 (高率電設株)	小川 力	27
感謝の6年!新たな躍進へ	(協)千葉電設協会 専務理事 (モデン工業株)	田中 宏幸	29
通信の進化	宮川電気通信工業株 代表取締役	宮川 欣丈	31
デジタルサイネージについて	アオバ通信株 代表取締役	岩崎 良昭	33
◀ 資料 (DXアンテナ株) デルカテック商品企画部 根岸英彦様より ▶			
ご挨拶・青年部活動について	(協)千葉電設協会 青年部役員 (昌信電機工事株)	宍倉 信尊	38
賛助会員部門名簿			39
第31回通常総会並びに創立50周年記念式典開催			41
いなげの浜清掃ボランティア活動 参加報告			43
第36回九都県市合同防災訓練千葉市会場 参加報告			44
ゴルフコンペ開催			45
事務局だより			46
入札結果報告			48



ご挨拶

千葉市長 熊谷 俊 人

この度、「協同組合千葉電設協会だより」第30号が創立50周年記念特集号として発刊されましたこと、心からお喜び申し上げます。

会員の皆様には、協会創立50周年を迎えられ、電設業界の更なる発展に努められますとともに、小川新理事長を中心に一致協力され、市民の安全で機能的な生活環境整備に多大なご貢献をされておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

今年度も、7月11日に実施された「いなげの浜清掃ボランティア活動」では、暑い中、会員のみならずご家族の皆様にもご参加いただき、海開きを控えた海辺の環境美化にご協力いただきました。また、8月30日に実施した「第36回九都県市合同防災訓練」では、自転車型発電機による人力発電体験により、エネルギーを生み出すことの大変さや大切さを市民の皆様に関わりやすく説明していただくなど、地域に根差した活動を展開していただいていることにお礼申し上げます。

さて、千葉市では、東日本大震災以降さまざまな防災対策に取り組んでおりますが、学校施設の耐震補強におきましては、会員の皆様のご協力により昨年度末までに工事をほぼ全て完了することができました。重ねてお礼申し上げます。

また、老朽化した公共施設への、省エネルギーと長寿命化を目的としたLED照明の導入や、首都直下型地震等に備えるため、避難所である学校に太陽光発電設備の設置が求められており、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

おわりに、協同組合千葉電設協会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝・ご活躍をお祈りいたしまして、ご挨拶といたします。



創立50周年を祝して

千葉県中小企業団体中央会 会長

平 栄 三

協同組合千葉電設協会が創立50周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

貴組合は、昭和40年に千葉市電友会として活動をスタートさせ、以来、半世紀に亘り、県内電気工事業界並びに組合員企業の発展のため、様々な課題を克服しながら今日まで歩んでこられました。

現在も、相互扶助の精神に基づき、組合員企業の技術水準の向上に資するため技術研修会等を開催し、日進月歩で進化するLED照明や太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーに関係する新機材・新技術の普及促進に努めるだけでなく、千葉市との間には防災協定を締結している他、九都県市合同防災訓練への参加や、いなげの浜清掃ボランティア活動の実施等、社会貢献にも大変力を入れておられます。

また、様々な業界で「若い人材の確保と育成」が大きな課題として叫ばれる中、これまで業界を支えていた熟練工の引退等を踏まえ、青年部活動等を中心に、これまで熟練工が培ってきた技術やノウハウの若い世代への伝承に取り組むなど、後継者の育成についても力を入れておられます。

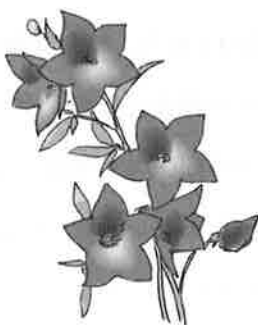
こうした変化し続ける社会情勢に適切に対応しながら、5年先、10年先を見据えた組合運営を長きに亘り継続されてこられた貴組合の事業推進力と実行力は、まさに他組合の模範とすべきものであります。これもひとえに小川理事長をはじめとする歴代の理事長及び役員の方々の卓越した指導力と熱意、そして、組合員企業の強固な

結束力の賜物であり、これまでのご努力とその功績に深く敬意を表する次第であります。

さて、現在、政府においてはアベノミクスの推進と地域創生が叫ばれており、また、千葉市においては災害対応力の強化や公共施設の大規模修繕等が計画されております。こうした中、地域に密着して活動を続け、市民生活に不可欠なライフラインを支える貴組合が担うべき役割は今後ますます重要になってまいります。貴組合がこれまでの経験を活かし、組合員のさらなる技術力の底上げを図りながら、業界の発展に寄与されますことを心からご期待申し上げます。

本会といたしましても、組合等中小企業の連携組織の県内唯一の専門支援機関として、組合及び組合員企業のニーズに即した国等の施策を積極的に取り入れながら、事業協同組合等を中心とした組織的な事業展開の支援を推進してまいり所存であります。

結びに、この記念すべき創立50周年を契機に、貴組合並びに組合員企業の皆様方の今後益々の御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



新たな公共施設の あり方とマネジメント



千葉市都市局建築部 部長

池田 典夫

4月1日より、建築部長を拝命致しました池田です。

「協同組合千葉電設協会だより」第30号（創立50周年記念特集号）の発刊、誠に
おめでとうございます。

会員の皆様には、日頃より千葉市の建築行政にご協力いただくと共に、地域
ボランティアや防災訓練への参加など、地域活動に寄与する活動に努めていただき
ありがとうございます。

貴協会の前身であります千葉市電友会が設立された当時の世相を思い起こして
みますと、昭和40年（1965年）には、朝永振一郎氏がノーベル物理学賞を受賞、
その前年の昭和39年（1964年）には、東海道新幹線が開通し、アジアで初めて東京
オリンピックが開催されました。その主会場として建設された国立競技場も既に解体され、
2020年のオリンピックに向けて、新国立競技場が計画されています。50年の歳月の
流れを改めて感じさせられます。

一方、千葉市の状況を振り返りますと、昭和38年（1963年）国鉄千葉駅が現在地に
移転、昭和40年（1965年）中央公園の完成及び東千葉駅開業、昭和42年（1967年）
検見川海岸の埋立開始、昭和44年（1969年）土気町との合併及び稲毛海浜ニュータウン
事業開始、昭和45年（1970年）市役所本庁舎建設など、大きなプロジェクトが続き、
それに併せて人口も急激に増加しました。

その後も人口は増え続け、平成4年には政令指定都市になり、都市の成長と共に、

多種多様な公共施設を積極的に整備してまいりました。その結果、他都市に比べても遜色のない都市に成長することができました。

高度経済成長期に建設した施設の多くは老朽化が進み、今後、これらの維持や更新に多額の費用が必要となります。また、本市の人口も平成32年をピークに減少に転じ、少子・超高齢化社会を本格的に迎えることとなり、将来的な税収の伸びを期待することは難しく、公共施設等の維持・更新費用を確保していくことは大きな課題となっています。更に、人口減少社会の到来を踏まえ、集約型都市構造への転換が求められており、新たな公共施設のあり方とマネジメントが必要となっております。

そこで、千葉市では、現有施設の利用状況や建物性能及び配置などを加味した公共施設の見直しを行い、その結果を踏まえ、施設改修計画を実施していくとともに、施設維持費削減や環境負荷への低減などを目的とした新技術の導入（LED照明、太陽光発電など）を積極的に推進するなど、経営的な視点での施設運営を図っていくことが重要であると考えております。

皆様におかれましては、コンパクトシティへのシフトという時代のトレンドを見据え、電気という分野を通じて、千葉市の建築行政へのご支援、ご協力を引き続き宜しくお願い致します。

むすびに、「協同組合千葉電設協会」の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。





「道路インフラの適切な 維持管理について」

千葉市建設局土木部 部長

佐藤 寿之

「千葉電設協会だより」第30号の発刊、心からお喜び申し上げます。

また、協同組合千葉電設協会が創立50周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

平成24年12月の中央自動車道笹子トンネル天井板崩落事故をきっかけとして、近年、道路などのインフラの老朽化対策が大きな問題となっております。

本市のインフラも、戦後の高度経済成長期を中心とした人口急増や、政令指定都市への移行など都市の成長過程において継続的・積極的に整備され、市民生活の基盤として重要な役割をはたしておりますが、その多くで老朽化が進み、今後、これらの維持や機能更新などに多額の費用が必要となります。

一方、国は、安心で強靱なインフラシステムの構築を目指し、平成25年に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、インフラ老朽化対策の推進や、各自治体に対し、平成28年度までに、全ての公共施設を対象として、維持管理の取組みの方向性などを定める「公共施設等総合管理計画」の策定、平成32年度までに個別施設ごとに具体的な維持管理方法などを定める「個別施設計画」の策定を要請しています。

このような状況を踏まえ、本市では、インフラを含め所有する全ての施設を対象に、計画的な管理を推進するための基本的な考えなどを示した「千葉市公共施設等総合管理計画」を平成27年5月に策定しました。

この計画では、道路などのインフラの維持管理に関する方向性について、点検、

診断、措置、記録からなるメンテナンスサイクルの構築など適切に取り組むとともに、施設の長寿命化及びコスト削減を図ることとしております。

本市では、安全性と信頼性が特に求められる橋梁について、平成22年に「千葉市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な維持管理行っているところですが、トンネル、道路照明灯、標識など、その他の道路インフラについても、今後、施設の種類や路線の性格などから、橋梁のように予防保全型の管理に転換するものと、事後保全型で管理するものに分類し、これに基づき、それぞれの施設の「個別施設計画」(長寿命化計画等)を策定することになります。

市内に約22500灯ある道路照明灯についても、平成32年度までにこの計画を策定し、今後、施設の特徴にあわせた適切な点検と、その結果に基づく的確な修繕等を計画的かつ継続的に実施していくこととなりますが、これには、協会の皆様のご協力も不可欠と考えております。

今後も照明灯を含めた道路インフラの安全性と信頼性を将来にわたり確保するために、効率的な維持管理に努めて参ります。

結びに、協同組合千葉電設協会の皆様の日頃のご協力に感謝するとともに、益々のご健勝をお祈り申し上げます。



「道路施設等の適切な 維持管理について」



千葉市建設局土木部 緑土木事務所 所長

長 嶋 條

昭和61年11月に「(協)千葉電設協会だより」が創刊され、今年度は創立50周年記念特集号が発行されると聞き、この輝かしい歴史に心からお喜び申し上げます。また、この記念すべき特集号に投稿するにあたっては、身の引き締まる思いと強いプレッシャーを感じているところです。

私は、本年4月から緑土木事務所長(維持建設課長兼務)を拝命し、道路施設等の維持管理業務に、管理課及び維持建設課の職員約30人で取り組んでおります。土木事務所の経験は、平成14年度に新設された若葉土木事務所で、一年間という短期間でしたが、一担当者として市民の方々と歩道を歩き、不都合や課題がないかを確認する交通安全総点検、右折レーン等を設置し渋滞緩和を行う交差点改良工事等交通安全施設整備に携わりました。昭和55年4月に市役所に奉職し、19年間を下水道事業に関わってきた私にとって、初めて道路管理者という立場で、安全で安心して通行できる道路施設等の維持管理は責任が重く、如何に大変であるか、身を持って感じました。

あれから10数年が経過し、立場が変わって土木事務所に着任しましたが、最近の異常気象によるゲリラ豪雨、台風等暴風雨による道路冠水、街路樹等の倒木への対応が増えています。定期パトロール(昼間週1回、夜間月1回)及び台風等が予想される時には事前パトロールを実施し、舗装面の状況確認、冠水箇所の側溝や柵の清掃、倒れそうな樹木の伐採等を行い、適切な道路施設等の維持管理に努めているところです。

また、日々、市民の方、町内会から道路の補修、照明灯の不点灯、側溝清掃、草刈等の

ご要望を頂き、軽微な内容であれば、直営班にて出来る限り早期の対応に努めています。直営班は、今年のように非常に暑い夏場も、熱中症等に細心の注意を払い、朝から夕方迄道路維持補修業務に一生懸命取り組んでおり、「道路維持補修の隠れた功労者」であることをこの場をお借りしてお伝えします。

市に4つある土木事務所は、日々道路施設等の適切な維持管理に努めておりますが、管理している国・県・市道は非常に多く、職員の対応には限度があります。昨年からの運用した「ちばレポ」の活用や市民の方、道路を利用しているドライバーの方等多面的な視点からご協力を頂き、官民一体となって、道路等における事故の未然防止に努めておりますので、より一層のご理解を賜りたく、宜しくお願いいたします。

最後に、協同組合千葉電設協会の皆様には日頃からのご協力に感謝するとともに、ご健勝をお祈り申し上げます。



最近の建築設備課の 状況



千葉市都市局建築部 建築設備課 課長

傘 木 雅 治

今年度より建築設備課長を拝命いたしました傘木と申します。どうぞよろしくお願いたします。

この度は、創立50周年記念特集号として「協同組合千葉電設協会だより」第30号が発刊されましたこと、心からお喜び申し上げます。

また、会員の皆様には、協会創立50周年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。半世紀の長きに渡り協会が続いてこられたのは、ひとえに歴代の役員の方々の努力と会員の皆様の協力のたまものであると思います。千葉市にとりましても、協会の活動である防災訓練における展示や伝達訓練、いなげの浜の清掃ボランティア活動、更には災害時の防災協定の締結と、大変心強く、なくてはならない存在となっております。今後も電設協会が更に発展し、75周年、100周年と続きますことをお祈りいたします。

さて、「電気とは？」と問われると、何と答えますでしょうか。一言で答えるのは、なかなか難しい気がします。ウィキペディアでは、「電荷の移動や相互作用によって発生するさまざまな物理現象の総称である」と最初に書いてあります。今いちピンとこない説明ですが、現在の私達の生活で、なくてはならないものであることは間違いありません。停電が少なくなった昨今、このことを久しぶりに思い知らされたのは、東日本大震災当時の計画停電でした。この時は、自宅で懐中電灯と電池を沢山買い込んで夜の停電に備えたり、停電となった職場では、パソコンが使えず仕事にならない状況でした。現在の社会では電気が無ければ、ポンプが動かず水も使えなくなり、照明が点かず動くこともできません。この様に電気は私達の生活になくてはならない大切な存在です。この大切な電気を電力会社の送電線から受電し、建物を利用する人々に安全で確実に供給しているのが

電気設備であり、皆様が日々携わっている仕事であります。私達は、工事の発注者と受注者という違う立場ではありますが、建物を利用する人々に安全で確実に電気を供給したいという思いは同じだと思えます。

電気の重要性が増す中、最近の建築設備課の状況として、団塊世代の大勢の退職者の影響で、世代交代の流れが非常に早くなっており、技術の継承と若手職員の人材育成が課題となっています。建築設備課の業務は、所管課から依頼された工事を設計・積算して工事を発注し、監督を行い完成させ、工事検査室の検査を経て所管課に引き渡すという非常にシンプルな内容です。ただし、その過程では様々な問題が起きます。そんな時に必要となるのは、職員の経験と工事に関係する方々(工事受注者・設計事務所・所管課・建築担当者等)とのやりとりをスムーズに行うためのコミュニケーション能力だと思っています。しかしながら、コミュニケーション能力は技術力が無ければ発揮することはできませんし、一人前の監督員になるためには数年間の経験を要します。建築設備課といたしましても、若手職員の業務遂行能力の向上のためにOJTや多くの研修に参加させるなど、課をあげて取り組んでいます。なかなか難しい状況となっております。この様に、建築設備課においては、多くの若手職員が工事を担当しますが、当課の状況をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

最後に、本市では学校施設の耐震補強を進めており、昨年度末までの工事完成を目指したことで、耐震補強電気設備工事が集中しましたが、会員の皆様のご協力により順調に事業が進められたことを、厚くお礼申し上げます。今後は、市有施設の老朽化対策や学校のトイレ改修、さらに音楽室・特別支援教室へのエアコン設置等の工事発注を予定しています。

また、再生可能エネルギーの導入を促進するため、国のグリーンニューディール基金を活用し、平成27年度と28年度に学校等の避難所に蓄電池付きの太陽光発電設備を設置する工事を発注いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

むすびに、協同組合千葉電設協会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたします。



浦島太郎リハビリ中

千葉市都市局建築部 建築設備課 主査

石橋 智 幸

この度、「協同組合千葉電設協会だより」第30号（創立50周年記念特集号）の発刊されましたこと、心からお喜び申し上げます。

創立50周年記念した会報への寄稿機会をいただき、1991年に奉職し、初めて就いた職場が現在の職場、今年で約25年、営繕の仕事から離れて20年ぶりに戻ってきて、当時、お世話になった諸先輩や現場でご指導いただいた会員の皆様が、今なおご活躍されていたり、次世代を見守られていたりする姿を拝見し懐かしく感じています。

私はというと、4年の営繕業務の後、清掃工場の運転(24時間交代勤務)や維持管理、新港清掃工場建設等を経て、全国でも数少ない、スーパーごみ発電設備の電気主任技術者などを20年してきました。

その間、設計といえば青焼き図面から裏トレし、夏は汗でしわになり、冬はお茶をこぼし書き直した図面が、パソコンのマウスとキーボードで書かれ、三角スケールで長さを当たり、拾い表を電卓で集計し、5インチのフロッピーに設計書を保存していたものが、表計算ソフトやR I B Cで集計されC D - Rへと変わり便利になる一方、総合評価落札方式など複雑かつ時間と手間を要する発注方式や調査制度など、この20年の状況変化に順応するため、日々、奮闘中のところ。現場では、当時から変わらぬものにも気づかされます。それは、ボックスの中に収められた電線と黒いテープが造る渦巻きや、上向きに突立てた配線に込められた、20年、30年と安全な電気供給を支える、変わらぬ技術と、モノづくりへのこだわりだと思います。

まだまだ、20年ぶりに戻ってきた浦島太郎はリハビリ中ですが、安全で便利な電気供給の手伝い出来るよう努力していきますので、今後とも、ご指導よろしくお祈りいたします。

むすびに、協同組合千葉電設協会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。





「名 前」

千葉市住宅供給公社 施設管理グループ

住宅保全係長 齋 藤 雅 史

突然ですが、「底靴」「鬼髭」「竜宮裸」「袋鰻」とは何でしょう？これで分かる人はかなりのマニアだと思います。では、「提灯鮫鱈」「竜宮の使い」を加えたらいかがですか？そう、これらはみな深海魚の名前なのです。世間話の一興に、本棚にあった図鑑「深海魚 暗黒街のモンスターたち」(尼岡邦夫著)に載っていた奇妙な名前を持つ深海魚についてご紹介させていただきたいと思います。

「ソコグツ(底靴)」:名前も変わっていますが、姿もインパクトのある姿です。図鑑の紹介には、「体は円盤状の頭部と棒状の尾部からなる」とありますが、私が見るにフライパンに蛙の足が付いた姿です。深海魚の和名に多く使われる言葉として、「深さ」を示す「深海」「千尋」「底」の付く名前が多くみられます。この「ソコグツ」も「深さ」を示す「底」に、「グツ」これは蛙の別名だそうです。

「オニヒゲ(鬼髭)」:「ヒゲ」とは「ソコダラ科」の魚で、鼻が尖った三角形の頭を持ち、尾は頭部からなだらかに細くなり終わる。食卓に上がる魚の様に、ウチワ状の尾ヒレではなくネズミの尻尾(ラットテイル)の様な形です。この姿から左右にピンと伸びた立派な口ヒゲ(片側)に似ていることから「ヒゲ」と属名が付き、その中でも、頭部が筋張りイカツイことから、「オニヒゲ(鬼髭)」となった様です。仲間に「ヤリヒゲ(槍髭)」「ソロイヒゲ(揃い髭)」「イバラヒゲ(茨髭)」もいます。

「リュウグウハダカ (竜宮裸)」: 深海生物には竜宮城にちなみ「リュウグウ」や「オトヒメ」と名の付くものがあります。また、深海魚は体表面に色素が少なく、体が柔らかく弱いために、網で捕られたときに鱗や皮膚がはがれることが多いため「ハダカ」と付くものが多くいます。この仲間に「オトヒメハダカ (乙姫裸)」と命名され不評だったことから改名(ヤリトカゲハダカ (槍蜥蜴裸))したものがあるそうです。女性のハダカを連想させた様です。でも、どの魚も決してセクシーな姿ではありません。

「フクロウナギ (袋鰻)」: この魚は名前よりも体型がすごい。口を閉じていれば確かに「ウナギ」の様な姿ですが、口が大きい! 普通、口は頭部の中にあるものと思いますが、この魚は口の上に頭蓋骨が乗っています。上アゴの長さが頭蓋骨の7~10倍という異常な体型をしており、この大きな口をこうもり傘の様に開閉するのです。捕食時にはこの大口を縦横に全開。ただし、アゴが丈夫ではないので大きな動物は捕らえられないそうです。

「チョウチンアンコウ (提灯鮫鰐)」: みなさんご存知ですね。大口の前にオデコから突き出た発光器を光らせ寄ってきた魚を取る、あの「チョウチンアンコウ」です。でも、オスをご存じないのでは? 「アンコウ」の仲間はオスが極端に小さく、大きなメスに寄生します。寄生したオスは、メスの血液から酸素と栄養の補給を受け、最終的には完全に融合してメスの体の一部となるものがあります。そうです、一般的に知られている「アンコウ」はみんなメスで、オスは「ヒモ」どころか、「寄生虫」後、メスの「いぼ」に成るのです。ですから、「アンコウ」の夫婦は、「死が二人を分かつまで」添い遂げます。

「リュウグウノツカイ（竜宮の使い）」：綺麗な名前ですね。生物の名前で一番好きな名前です。生物学者もロマンチストですね。「リュウグウノツカイ」が日本沿岸に打ち上げられ、ニュースでご覧になった方も多いと思います。この魚の打ち上げ記録は古くからあり「地震の前兆では?」と話題になることもあります。深海生物の打ち上げと地震の関係を調べた魚研究者がいて、打ち上げ記録と地震の記録を照合しても明確な相関関係は証明できなかったそうです。遊泳力が弱く体の大きなこれらの深海生物は、「海流の影響により沿岸に打ち寄せられる」が現在の定説の様です。深海生物の打ち上げで心配するのは、地震よりも「地球温暖化による海流変化」の様です。

約50年前の日本の潜水調査船「しんかい」は潜水深度600mでした。現在、現役の潜水調査船は「しんかい6500」潜水深度6500m。そして2023年就航予定の潜水調査船は「しんかい12000」潜水深度12000mを目標に開発されています。日本の潜水技術はこの50年間で著しく向上し、潜水深度にして20倍、マリアナ海溝でさえ有人で調査でき、地球上に残る最後の秘境を踏破する日が実現するのです。

千葉電設協会の皆様、協会発足50周年おめでとうございます。この50年間は著しい技術革新があり、大激動の年月だったものと思います。その中で協会員皆様の努力と知恵が、千葉を発展させ、建築設備の安全で安定した運営を実現させたものと考察いたします。このご尽力に感謝いたしますと共に、今後ともお力添えをいただきたくお願い申し上げます。



「創立50周年に寄せて」

元 千葉市都市局建築部 部長

金 井 一 男

創立50周年、誠にめでたうございます。千葉電設協会が50年という半世紀に亘り今日まで幾多の困難を乗り越えて現在に至っておりますことは歴代（染谷、岩崎、好地、伊藤、田中）理事長さんをはじめ、現在の小川理事長さんが先頭になり業界を牽引し、その下会員の皆様方が一致協力し、不断のご努力を重ねてきた賜物と大変敬服しております。

また、私が市役所在職中は皆様には色々ご支援、ご協力を賜りましたことに大変感謝しており、この誌面をおかりして厚く御礼を申し上げます。

私は昭和44年千葉市役所建設局監理課設備係を拝命してから平成18年退職し、その後千葉市住宅供給公社の4年間勤務するまでの41年間、千葉電設協会の皆様方と設備行政を通してお付き合いをさせて頂きました。この間、皆様方には電気工事の仕事を通してたくさんのことを教えて頂きました。私が入所した当時は学校の建設ラッシュでキュービクル設置も計画的に進め仕事が幾多とあり、まさにバブルの時期でした。まだ入りたての私は先輩の指導を仰ぎながら電気工事の監督を一生懸命頑張っておりましたが、何分経験が浅いため、現場は業者任せでした。そんな状況の中、一部の業者の方から厳しい質問をされ、私の実力を試されたこともありました。この時は見下されているなど感じ、帰ってから今に見ていると猛烈に勉強をしました。その時の悔しさがバネになり仕事力の向上につながったように思います。しかし、ほとんどの業者の方は大変協力的でかつ真摯に責任をもって仕事をし、私の未熟分をカバーして

頂きました。今は懐かしい思い出です。

バブル崩壊以降は、社会経済状況が低迷し景気上昇の兆しが見えない中、工事の発注も少ないため業界から色々と要望が出されました。私も行政を司る立場として役員の皆様から業界の実情を聞き、少しでもお力になればと幾度か協議し、その中で実現した要望も何点かありました。こうした協議を重ねているうちに良い意味での信頼関係が築かれたように思います。

私は現在、福祉施設に勤務しており、地域の仕事もしておりますが、電気の仕事に携わることが多く、困った時には協会の業者の方に無理をお願いし早急な対応をして頂いておりますが、かつて築いた信頼関係があればこそと思っています。私が未だ現役で頑張っているのも皆様方のお蔭と言っても過言ではありません。今後ともご支援ご協力の程よろしくお願い致します。

終わりに千葉電設協会のさらなる発展と会員の皆様方の益々のご健勝ご多幸を心より祈念いたします。





“支えられし日々に感謝”

元 千葉市都市局建築部 部長

古 内 博 道

協同組合千葉電設協会創立50周年おめでとうございます。半世紀にも及び千葉市の建築行政にご尽力いただきましたこと衷心より感謝申し上げます。

創立50周年の記念にあたり、甚だ恐縮に存じますが自らの千葉市奉職時代の主だった思い出を綴りながら、その間支えて頂きました協会の皆様に重ねて感謝申し上げたいと存じます。

昭和48年 千葉市奉職（電気技術職として）

*当時の（任意団体）千葉電友会1代目理事長は染谷新太郎氏

奇しくも設備課が設立された年でした。設備部門が建築組織から独立して設立されることは全国的にも極稀なことでありました。そうしたことから組織内も活気が漲りチームワークも抜群でした。奉職1年目の私は、監督とは名ばかりでいつも現場で先輩や協会の皆さんに教えを頂き帰庁する毎日でした。

昭和49年 建築部建築指導課勤務

・奉職2年目で建築確認審査・指導業務に携わることとなる。

担当は昇降機等の確認審査・現場検査でした。初めて紐解く建築基準法に戸惑い悪戦苦闘したものです。高度成長期の名残が冷めやらぬ時期で1日に数か所のエレベーター検査をした記憶があります。

昭和60年 千葉市動物公園開園

* (任意団体) 千葉市電友会～協同組合千葉電友会と名称変更される。

・当該年の開園に向けて初めてビッグプロジェクトに参画する。

基本計画、基本設計、実施設計、工事監理と携わり、トータルな事業展開を経験することができました。当初は山林だった現地(野生の甘柿の木やアナグマの巣穴あり。)の視察・調査から始まりました。施設づくりの楽しさ・醍醐味を学んだ時期でした。

平成元年 千葉中央ツインビル竣工(市街地再開発事業)

・これまでの千葉市独自の施設づくりとは異なる民間の地権者を含めた施設づくり(市街地再開発事業)を担当する。

業界屈指の設計事務所との出会いは、設計のあり方、工事監理のあり方等々多くの事を学び得る機会でありました。そしてそれはその後の私の業務推進上大きな礎となりました。

*平成3年 協同組合千葉電設協会2代目理事長に岩崎興二氏就任。

平成4年 千葉市は全国12番目の政令指定都市となる。

・当該年の政令指定都市移行に向けて各施設づくりが加速される。

各区の特徴を生かし区民の皆様に親しまれ・愛される区役所(私の担当は美浜区役所)づくりを目指しました。

*平成9年 協同組合千葉電友会～協同組合千葉電設協会と名称変更される。

平成10年 中央卸売市場勤務

・施設づくり部門から初めて施設維持管理部門の従事となる。

卸、仲卸の多くの社長さん方の価値観の相違から事業推進における合意形成の困難さを体験しました。転属して改めてこれまで施設づくりで支えて頂いた協会の皆さんの有難さを実感しました。

平成12年 建築部建築管理課勤務

・契約における指名審査会の委員を拝命する。

契約手法や指名基準などで千葉市の方針が協会の希望に沿えないこともあり、幾度となくやむにやまれぬ思いをしたことなどが思いおこされます。

思い出は語り尽せませんがその後、3代目理事長 好地宏氏、4代目理事長 伊藤征司氏、5代目理事長 田中宏幸氏の皆様には建築行政のみならず防災協定の締結、社会福祉等一方ならぬご尽力を賜りましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

そして、6代目理事長の小川力氏におかれましては益々のご発展をご祈念申し上げます。

結びに在職中の挨拶の中、皆様の熱心なご清聴に接し思わず発した言葉を再度紹介しお祝いとさせていただきます。

「施設づくりは、無から有を創出する素晴らしい業務です。更に皆様は、最後にその施設に^{あか}灯り（魂）を^{とも}点すと言う素晴らしい業務を担っておられます。これを誇りとし尚一層の飛躍を期待申し上げます。」





節目の年

(協)千葉電設協会 顧問 (株)光栄電設工業

好 地 宏

千葉電設協会50周年の節目の年は、終戦後70年の節目の年でもあり、各テレビ局は70年目に向けた内閣総理大臣談話問題、また現在では予想もつかないような、目をそむけたくなるような、当時の悲惨な思い出のシーンが数多く放映されました。

そしてテレビ番組の最後に必ず話題になる、世界の一部での紛争がありますが、絶対に戦争は繰り返えされる事なく、広島や長崎を最後に核兵器は、二度と使用されることの無いように、後世に語り継ぐのが我々に与えられた役目です。

一方夏の名物、高校野球は100年目の節目の年で、本年の優勝高、神奈川の東海大相模高校は、甲子園ナンバーワン左腕投手小笠原君を筆頭にチーム一丸となり、45年ぶりに二度目の優勝を成し遂げました。それも奇跡的にも45年前と同じ(同月同日)8月18日で点差も同じ 10対6で全国制覇を遂げました。同点で迎えた9回の表、先頭バッター小笠原君(投手)が、仙台育英の(好投手)佐藤世那君の初球をなんとホームラン ----- 打った小笠原君の顔・打たれた世那君の顔が未だに目に焼きついております。☆東海大相模高校のナインの皆さんおめでとうございます☆

数年前、私は東京から千葉へ帰って来て最初に転職した会社の、50周年記念式典に招待を受けて行ってまいりました。今思うと創立50周年のこの日を堺に、これから70年も100年も延び続けるぞの、スタートの日だったと思います。

よく「創立以来、雨の日も風の日も」といいますが、会社は代表者を中心として、

社員が一丸となって、大事なお客様と周囲からの信頼と信用の基に会社の繁栄があり、創立50周年100周年の記念大会を迎えることが可能だと思えます。50年の年月の間に、お客様は代表者が代わり・重役が代わり・社員が代替わりしている中で、仕事を頂き増やしていく会社の方針と社員の意気込みには、OBとして只々敬服と感謝のみです。情けない話ですが、私は年の近い先輩と、ストーブを抱いて、時にはお墓のお供物を片手にいただきながら、徹夜で見積もりをして、朝になると社長と積算の手直し(赤鉛筆の丸い斜め字でゴチャゴチャと、注意書きだらけ)検討。おい、おい、またかよ。当時はペーパー時代ですから、字はまるで下手、ソロバンもまるで駄目……あぁ 今思えば大変勉強になりました。

当協会も同様です。千葉市に対する任意団体から、現在では正式な団体として50年。市長を始め、建築、土木、その他の部課長から職員まで。大勢の交代がある中で、今では千葉市と共に97万千葉市民が、安全で安心して暮らせる街づくりのために、災害時に備えた防災協定の締結、そして九都県市合同防災訓練への参加、千葉市社会福祉への寄付行為等、由緒のある団体として貢献させていただいております。

50周年の記念の年ですので私に解る限りの協会の経歴を述べさせていただきます。当協会は昭和40年5月(任意団体)千葉市電友会として、有志8社でスタートいたしました。

初代会長は 染谷新太郎 氏 千葉県生まれ (株)染谷電気商会 代表取締役

人柄は非常に良い人でしたが、強情で、強引で、お酒の好きな人でした。

染谷氏の口癖は 互譲の精神 就任暦26年

当時の市長さんは 宮内 三郎 市長(四期目)

市長交代 宮内 三郎 市長 ～ 荒木 一成 市長へ 昭和45年 ～ 昭和52年

市長交代 荒木 一成 市長 ～ 松井 旭 市長へ 昭和52年 ～ 平成13年

松井市制は 6期24年間に渡る

協同組合 千葉電友会 に名称変更 昭和60年 1月

名称変更に伴い会則も整備される。

責任者 東陽電気工事(株) 高梨 修 氏 千葉大卒 (教育学部)

高梨氏は、学歴はもちろんのこと、各役所にも知人が多く、六法全書を片手に片岡電工(株)の藤巻 誠一 氏と共に会則の改定に力を入れた。

当時の組合員数 組合員 67社 賛助会員 28社 合計 95社

協同組合 千葉電友会だより 第1号発刊 昭和62年

当機関紙も節目の年で本年度30年 第30号発刊となる (年1回発刊)

当機関紙には、千葉市長様を始め各担当部局より、寄稿を戴くと共に会員よりの寄稿も多く好評な機関紙です。

協同組合 千葉電友会 設立25周年記念を挙げる 平成2年10月千葉共済会館

理事長交代 初代染谷理事長より2代目岩崎理事長に 平成3年5月の総会にて

理事長 岩崎 興二 氏は 宮城県生まれ 当時の千葉塚田電気(株) 代表取締役

政令指定都市 (千葉市) 誕生 全国12番目 平成4年4月

(協)千葉電友会を(協)千葉電設協会と名称変更する 平成9年7月

当時の組合員数 組合員 67社 賛助会員 28社 合計 95社

協同組合 千葉電設協会青年部設立 平成11年10月

初代青年部長 (有)石本電設工業 鎌田 雄二 氏

青年部は、桜田 尚栄 理事の懸命な努力により設立

残念ながら桜田理事、(株)桜田電設代表取締役は、都市計画法により会社の存続を断念途中退会 (青年部は現在も会の中心となり活躍中)

理事長交代 2代目岩崎理事長より3代目好地に 平成13年5月の総会にて

私は 千葉県 (本納町) 現茂原市生まれ

好きな言葉 相田みつお氏 うばい合えば足らぬ、わけ合えばあまる

ことわざ (母親より) わが身をつねって、人の痛さを知れ

当時の組合員数 組合員 78社 賛助会員 32社 合計 110社

市長交代 松井 旭 市長 ～ 鶴岡 啓一 市長へ 平成13年 ～ 平成21年

20世紀から21世紀へと千葉市政も松井市政から鶴岡市政へ。

そして現在は熊谷 俊人 市長へと引き継がれております。

理事長交代 3代目好地より 4代目伊藤理事長に 平成19年5月の総会にて

理事長 伊藤 征司 氏は 千葉県生まれ 伊藤電業(株) 代表取締役

伊藤氏は理事長を引き受けたが、都市計画法により千葉市の仕事は断念、志半ばに

して協会を退会するも、客先を県その他に向け商売繁盛中

理事長交代 4代目伊藤理事長より5代目田中理事長に 平成21年5月の総会にて

理事長 田中 宏幸 氏は 東京都生まれ モダン工業(株) 代表取締役

理事長交代 5代目田中理事長より6代目小川理事長に 平成27年5月の総会にて

理事長 小川 力 氏は 東京都生まれ 高率電設(株) 代表取締役

電設協会創立50周年記念式典を開催

平成27年5月29日

そして現在に至る。

[協会の主な行事]

※協会より千葉市への主なお願い事項

- ・分離発注のお願い
- ・大型工事に関するJV問題
- ・最高限度額の引き上げ等

※入札及び契約関係

昔の紙入札から現在では電子入札に替わってきました。

入札形式は 指名型・希望型・公募型・総合評価方式等があります。

最低制限価格が設けられるようになりました(設計金額の90%前後が標準のようです)

※福祉関係・他

- ・千葉市社会福祉への寄付 新年賀詞交換会にて千葉市長へ (25年になります)
- ・新潟中越地震への義捐見舞金
- ・いなげの浜清掃ボランティア活動
- ・千葉市と災害時に備えた防災協定の締結 平成10年 8月
- ・九都県市合同防災訓練への参加(同日に災害対策連絡網の確認も行っております)
- ・会報誌の発行
- ・研修会関係
 - ・電子納品・CAD研修会・パソコン研修会
 - ・施工技術の各種資格取得講習会 (青年部中心)
- ・親睦関係
 - ・家族親睦会・麻雀・ゴルフ等

以上、当協会3代目の年長爺が協会の設立以来の流れを書かせて頂きました。
私が無事理事長を、努められたのも、組合員の皆さん・賛助会員の皆さん・そして
何よりもご当局の皆さんからの支えが逢ったからと感謝しております。

誠に有難うございました。

結びに、熊谷市長様を中心とした、千葉市の益々の発展と、組合員・賛助会員の
皆さんの、ご商売の繁盛と、ご健康と、ご多幸を、心よりご祈念いたしますと共に、
当千葉電設協会への より一層の ご支援、ご鞭撻もお願い申し上げます。

新任ご挨拶 (…50周年を迎えて…)

(協)千葉電設協会 理事長 (高率電設(株))

小 川 力

組合員の皆様、賛助会員の皆様には、激動する経済及び経営環境の中、当協会の事業運営に、ご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

私は今年度の総会におきまして、6年に及び当協会をまとめていただきました田中理事長の後任として、理事長に就任致しました。

また、創立50周年記念式典及び祝賀会におきましては、大変、多くの皆様にご参列いただきましたこと、改めまして御礼申し上げます。

今まで50年の長きに亘り歴代理事長はじめ組合員、賛助会員の皆様により、築き上げられた当協会への信頼を汚すことなく、千葉電設協会の発展に、新理事一同鋭意努力する所存で御座います。甚だ未熟でありますので、千葉市、組合員・賛助会員の皆様には、ご理解とご指導を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

今回、ご挨拶をさせていただくにあたり、“千葉電設協会だより”の昭和60年11月の創刊号から読んでみました。今回で“会報誌”も30号を発刊するに至りましたが、30年の間には昭和48年のオイルショック、バブル崩壊、リーマンショックなどそれぞれの情勢下で我々への課題が読み取れ、経済環境、経営環境の変化、その時々我々中小企業、電気工事専門業者の抱える課題、そして千葉市の発展、変貌を読み取れる貴重なものになっております。

そして現在は、長き経済低迷の中から一時的であっても人手不足、職人不足が課題になっています。ただ、これも昔のような継続的な右肩上がりの経済に移行していくとは誰も考えていないかと思われまます。

平成3年の頃、状況が違えどやはり人財の育成が叫ばれ、平成9年頃には公共工事のコストダウンが急務となっていました。現在は人財の育成確保はもとより、ここ数年で照明器具の主流がLEDに置き換わったのを見ても、電気工事に係る市場要望の変化、多様化し専門化する技術など、我々電気工事業者も技術、品質ともに切磋琢磨していかねばなりません。

今後も当協会が、技術情報の提供をはじめ組合員の受注確保を目指し様々な形で、ご当局ならびに組合員、賛助会員の皆様方の発展にお役に立てるよう努力したいと思っております。

おわりに、熊谷市長を中心とした千葉市の益々のご発展と、組合員ならびに賛助会員の皆様の、ご繁栄とご健勝を心よりご祈念いたしますと共に、当協同組合千葉電設協会発展のため、より一層のご協力、ご鞭撻をお願い申し上げます。

☆組合功労者表彰

50周年記念式典にあたり、長年に渡りご尽力いただいた方々を表彰し感謝申し上げます。

《組合員》

昌信電機工事(株)	宍倉 昌信
(株)光栄電設工業	好地 宏
旭電工(株)	岩井 良之
滝口電気工事(株)	滝口 勝征
アイシン電気工事(株)	小泉 嘉規

《賛助会員》

宮川電気通信工業(株)	宮川 欣丈
アオバ通信(株)	岩崎 良昭



「感謝の6年！ 新たな躍進へ」

(協)千葉電設協会 専務理事 (モデン工業(株))

田 中 宏 幸

今年5月29日、第31回協同組合 千葉電設協会通常総会におきまして、3期6年努めました理事長を退任させて頂きました。また、組合員の皆様のご協力を得まして議案がすべて可決承認致しました。誠にありがとうございました。

今思えばあっという間の6年間でした。

6年前の2009年は「リーマン・ショック」の翌年であり、世界的金融危機により世界経済がどん底に沈んだ時期でした。日本経済も例外ではなく株が大暴落し、円高株安・デフレが進行し、日本経済が大幅に景気後退へ進んだ記憶がございます。

また、民主党が衆議院選で絶対安定多数を獲得し、政権交代が実現した時でもございました。「コンクリートから人へ」という標語も生まれ、いかにも建設業界に対し猛烈な逆風が吹き荒れていることは明白であり、大変な時期に理事長を引き受けたものだ、と頭をかかえたものでした。

しかし、ピンチもあればチャンスもあります。

私が新理事長就任のこの年、千葉市政においてまったく新しい、若いフレッシュな熊谷市長が誕生しました。新しいもの同士という共通の立場のうえで、協会活動をアピールし共存共栄の道を歩めないか、千葉市の発展に何か貢献できないか、たいへん有り難いことによく意見交換をさせて頂きました。また、当時の建築部長様、建築設備課長様をはじめご当局の皆様からも、新米理事長の私をはじめ、協会に対し親身にご指導・アドバイスを頂きました。本当に有り難うございました。

当時の理事会を構成する理事においても、間違いなく高齢化の波が押し寄せていたと

思います。ベテランの年齢的にも大先輩の理事の皆さんのサポートのもと、私のような新米理事長も何とかやってけることができました。また、大先輩の理事の皆さんは、若手理事の抜擢についても理解して頂き、大先輩と若手理事の融和も進み、今のかたちになってきたのかと思います。

理事長在任中、ご関係のございましたすべての皆様に感謝を申し上げるとともに、協同組合 千葉電設協会 創立50周年を迎えるにあたり、協会をここまで造りあげ、育て守って頂いた歴代の理事長をはじめ、理事、組合員、賛助会員の皆さん、協会に対しましてご理解とご指導頂いたご当局の皆様、深く感謝と敬意を表したいと存じます。誠に有り難うございました。

私はこれより専務理事としまして、引き続き千葉市並びに協会の新たな躍進の為に尽力していきたいと存じます。どうかこれからも一層のご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。





通信の進化

宮川電気通信工業(株) 代表取締役

宮 川 欣 丈

立秋も過ぎ朝夕はさすがに涼しくなり、秋がちかづいたことを思わせます。

去る5月27日の千葉電設協会50周年記念式典において、賛助会員として組合事業の発展と業界向上に、永年に亘り貢献したとのことで感謝状を頂き大変恐縮し、また電気設備業界のお役にたっている気がいたし、大変誇りに思いました。

情報や知識を伝達し、共有し合うことを「コミュニケーション」といい、私たち人間社会は、コミュニケーションで成り立っていると思います。ですから人間の歴史進歩とともに始まり、身振り手振り、そして言葉、やがて文字を考え、文字は壁、粘土、骨に刻まれ、動物の皮や木片に書かれ、やがて紙を発明して書かれ、印刷して多くの人が情報を共有しあい、人間が進歩して来たと思います。又、相手が目の前に居ず、離れた場所にいる場合、太鼓の音、狼煙、ほら貝、鐘、手旗信号、伝書鳩等を考え、伝えたい内容を、音や符号に変える工夫が「通信」技術の始まりでした。

日本に電信機を伝えたのは、1854年日米和親条約を結ぶ為来日したペリー提督が徳川幕府に贈呈したのが初めでした。1869年（明治2年）には東京～横浜間で電報が開始され電信事業が始まりました。

明治政府の電信事業は主に軍事上の目的から電信網を全国に拡大し、1873年には電信機の国産化を成功させています。郵便事業の始まりは1871年（明治4年）で、優れた飛脚が多く居たため電信事業より遅れたそうです。

1877年（明治10年）電話設備が始めて輸入。電話交換機（磁石式）も設置され

翌年には、国産1号機が制作されましたが性能は良くなかったそうです。1890年（明治23年）には東京～横浜間で電話線が敷設され、東京155回線、横浜42回線が加入しましたが、加入料使用料が高価な為一般では使用できず官公庁・大手企業の利用が主でした。1934年（昭和9年）日本とフィリピン間で国際電話が始まりました。

電話交換機は交換手が回線を接続する手動交換機ではじまり、大規模な回線接続処理ができる自動交換機が導入され、機械式スイッチや電磁リレー式、電子式、蓄積プログラム制御方式等アナログ式交換機から、デジタル交換機へと進化してきました。

日本の電話事業は国によって始められ、通信省から、1952年（昭和27年）日本電信電話公社になり、1985年（昭和60年）国際経済摩擦（外国が公社の仕様が厳し過ぎ入札に参加できない）等既成緩和策により（国鉄より2年前）NTTに民营化されました。

1972年（昭和47年）紙に書かれた文字、画像を送る、ファクシミリ通信が一般電話回線で行えるようになりました。1979年（昭和54年）自動車電話（ショルダーホン）が売り出され、小型軽量化され携帯電話機に発展しました。こうしたことは、1960年代のIC（集積回路）コンピューターやさらに集積度の高いLSI（大規模集積回路）、VLSI（超LSI）と進化し小型化高性能化に伴いマイコンが様々の機器に組み込まれて機器の制御に使われ、通信範囲と通信能力が向上し、通信ネットワークには、コンピューターが中核となって形成されています。インターネットはコンピューター同士をつなぐ通信ネットワークです。通信技術の分野にコンピューターが結びつき、海底ケーブル・通信衛星・光ファイバー等を張りめぐされた伝送路が、旭川～鹿児島間3400キロに1980年（昭和60年）完成し、2025年には、全国光回線によるIP網を目指しています。

IT（情報通信技術）によるコミュニケーションは、時間や距離的な制約を越えたものになりました。人間の歴史とともに始まった通信というシステムは、社会の要求と、様々な分野の技術革新による新たな展開により、今後の進展が楽しみです。



デジタルサイネージについて

アオバ通信(株) 代表取締役

岩崎 良昭

弊社は、昭和50年(1975年)「青葉通信設備(株)」(旧社名)として、創業し、昭和から平成へと創業いたしてまいりました。今年で40周年を迎える事ができました。そして(協)千葉電設協会様の創立50周年行事に伴いまして、永年賛助会員として感謝状を頂きました。これまでこの業界の中で会社を維持できたのは千葉電設協会の組合員の皆様のお陰だと痛感しております。誠に有難うございました。

40年間この業界に携わり技術的進歩が加速されている事を痛切に感じております。アナログ放送からデジタル放送に変わった現在、特に急加速されてるような気がしております。デジタル技術用語に関しましては、2～3年程度で死語になってしまうものもあり、この業界の中で仕事をする者としては、日々の技術的情報の収集がいかに大切かを感じております。

また、取り入れた新しい技術をどのようにエンドユーザー様にご提供出来るか、いわゆるソフト面での考察も重要ではないでしょうか？

我々技術者が技術バカと言われる事のないように、広い世界に目を向けられるようにしたいものです。その為には豊かな趣味を持つ事をお勧めいたします。

弊社では音声のみの放送設備の工事が主体でしたが、昨今、病院及び集合住宅での映像を含めた情報伝達のご要望が多くなりましたので、デジタルサイネージの導入促進を行いつつあります。今回D Xアンテナ(株)に依頼をし、デジタルサイネージ技術の一端をご紹介させていただきます。



DX DELCATEC

協同組合 千葉電設協会様向け

放送網を利用した 《防災・福祉情報配信システム》の活用提案 (DXマルチキャスト)

2015年9月
DXアンテナ株式会社
デルカテック商品企画部
根岸 英彦



DX DELCATEC

1. はじめに

近年、放送波に付加した制御信号を利用してインターネットと放送番組を連携したサービスが運用されています。NHKの「HybridCast」や民放が推進中の「SyncCast」等がその例で、着実に「放送と通信を融合させたサービス」が身近になっています。DXアンテナもIPデータ（コンピュータで作成したファイル等）を放送波に多重して伝送するIPDC（IP Data Cast）技術を用いた情報配信システム（DXマルチキャストシステム）を商品化、CATV局や自治体様に納入を開始いたしました。情報配信の流れを図1に示します。

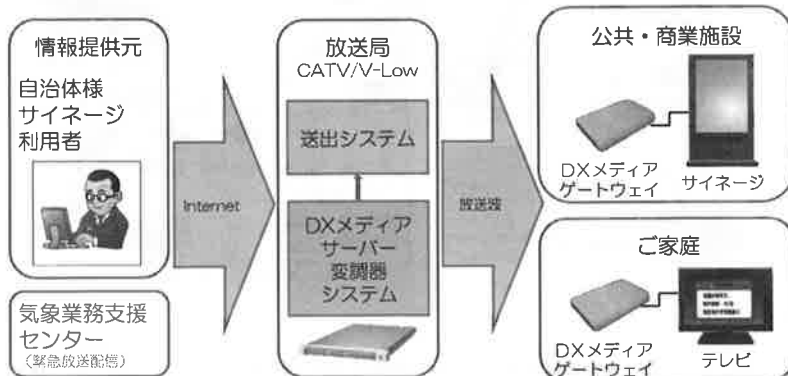


図1 情報配信の仕組み



2. DXマルチキャストシステムの概要

IPDCシステムとは、IP Data Castの略で、一般的なインターネットをはじめとする通信分野で使用されるIPパケットを放送波に重畳させて、一斉に配信できるシステムです。放送サービスの特長である一斉・同報配信の特長を活用しながら、ご家庭のTVはもとよりPCやスマートフォン、タブレット等の情報端末にも情報を配信できます。

近年、予期せぬ自然災害が増えており、いち早く住民の方々に緊急情報を伝達することが要望されています。以下に、放送波やCATV網を利用し、即座に緊急情報を伝達できるDXアンテナが開発した「防災・福祉情報配信システム」である「DXマルチキャスト」の機能や特長を以下にご紹介いたします。

図2にCATV網を活用した緊急情報の配信例を示します。地震や津波、洪水や高波、暴風雨等の緊急情報を気象庁から専用回線で、CATV局まで伝達されます。この緊急情報信号は局に設置されたメディアサーバ、変調器を経由して、CATV送信設備から契約者の方々へ瞬時に配信されます。送信された緊急情報は、ご家庭等に設置された受信機である「DXメディアゲートウェイ」により復調され、TVやスマホ、タブレット等にプッシュ型で配信されます。また、DXメディアゲートウェイ本体には、スピーカが内蔵されており、緊急情報を音声出力ができ、前面のLED表示にて緊急度を視認できます。

緊急情報の自動起動機能があるため、夜間・深夜・早朝等のTVがOFFの状態でも、緊急信号を受信するとTVを自動的にONする機能も搭載されています。

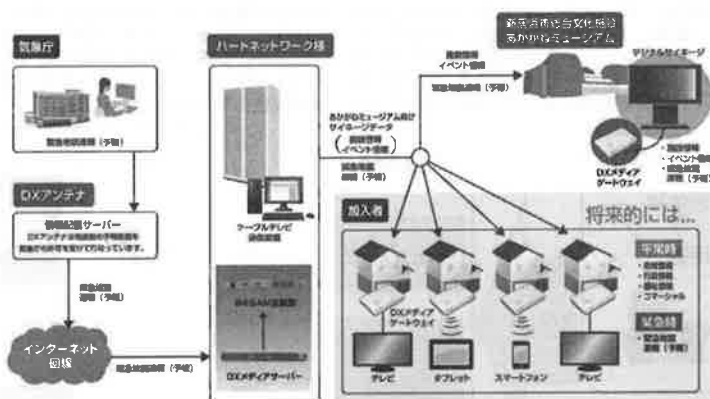


図2 システム構成例 (CATV網)



3. V-LOW波、エリア放送での活用例

2015年度から全国サービスが開始されるV-LOWマルチメディア放送やエリア放送を利用したシステム例を図3に示します。

このようにDXマルチキャストは、情報伝達経路として、CATV網や放送網はもとより、インターネット網経由でも一斉情報配信することができるシステムです。

緊急時でも、様々なネットワークを活用できるDXマルチキャストの情報インフラとしての重要性が増加しています。放送型でありながら特定の受信機に、当該情報を伝達できることもDXマルチキャストシステムの特長です。特定のエリアや特定のご家庭をグルーピング設定することにより、個別情報配信が可能です。

本年7月に納入したCATV局では、緊急地震速報や地域情報、市からの住民向け情報、さらには、デジタルサイネージディスプレイでの電子広告サービスの実施により、地域の安全・安心サービスに貢献しています。

また、本年4月から長野県でUHF波を利用してサービスを開始したテレビ信州の広報広告型サービスである「ナローキャスト放送」も各方面から注目されています。

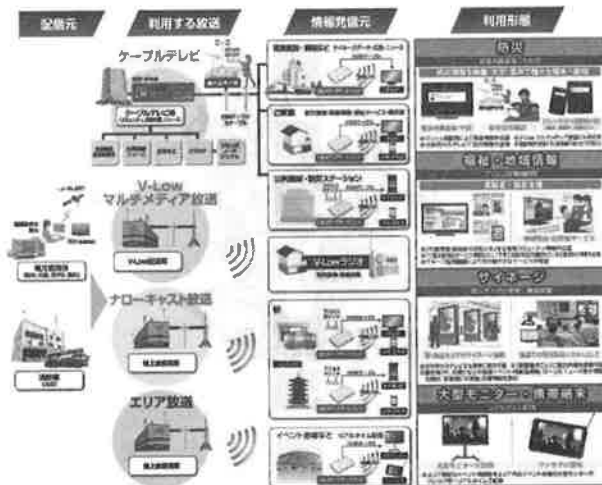


図3 V-LOW波、エリア放送での活用例



DX DELCATEC

4. 今後の展開

日本では、少子高齢化が加速しており、介護・福祉情報を住民の方々へ確実に伝達する手段が求められています。将来的には、体温センサーや心拍センサーのデータをメディアゲートウェイを介して収集することで、介護・福祉関連のシステムとしての発展性も有しています。緊急情報の伝達はもとより、通常時でも様々な情報をご家庭に伝達できるDXマルチキャストシステムの有効性が全国各地で実証されることを期待いたします。

【デジタルサイネージの例】



【防災無線再生の例】



図4 システム応用例





ご挨拶・ 青年部活動について

(協)千葉電設協会 青年部役員 (昌信電機工事株)

宍倉 信 尊

本年度より青年部役員としてお世話になります、宍倉みちたかです。何分不慣れなもので、至らない点多々あると思いますが青年部役員として、黒田部長のもと他の役員の方々と一緒に一丸となって頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

まずはじめに、創立50周年記念式典において組合の発展に貢献したとして、父 昌信が表彰して頂きましたこと御礼申し上げます。私は父に「自分ではなくみんなの協力のおかげでやってこれたんだ」とよく言われます。

私も役員活動を通じて父の言っている事の意味を感じるようになりました。以前はただ行事に参加させてもらい、役員の方々の苦勞や楽しさなど考えもしませんでした。しかし家族親睦会やいなげの浜清掃ボランティア活動、九都県市合同防災訓練などを通してみんなで考え一致団結して行動する大切さ、すばらしさを感じました。また、親会があつての青年部だと強く感じました。

今は青年部員の数が減ってきています。どの様に青年部を存続していくのか、また、どうしたら会員の皆様が企画に参加してくれるのだろう、どうしたら参加者に喜んでもらえるのだろうと以前より先輩方は考え活動しています。青年部活動を通じて自らの資質の向上はもちろん仲間同士の絆を深め、親睦を図り、魅力的な青年部にしていこうと部長のもとみんなで考えています。

これまでの青年部の活動を知り、感謝し、今の青年部、これからの青年部を考えながら青年部活動をしていきたいと思っておりますのでご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

賛助会員部門別名簿

資材購入、弱電工事、産廃処理は賛助会員におまかせ！

*各部門五十音順に掲載
*太字は広告掲載会社

盤及び機器メーカー部門

会社名	代表者名		郵便番号	所在地	電話 F A X
大崎電気システムズ(株)	代表取締役社長	山口 裕幸	141-0022	東京都品川区東五反田 2丁目1番10号	03-3443-7175 03-3443-7644
日本電機(株)	千葉営業所長	神川 一彦	260-0021	千葉市中央区新宿1丁目4番10号 シーガル新宿ビル2F	043-301-0575 043-301-0585
ミヤコ電機(株)	代表取締役社長	肩上 哲	136-0076	東京都江東区南砂 2丁目10番10号	03-3647-2701 03-3647-0940

電材部門

会社名	代表者名		郵便番号	所在地	電話 F A X
小島電機工業(株)	第三販売部 販売部長	阿久津久勝	260-0045	千葉市中央区弁天 3丁目6番4号	043-254-5721 043-253-3760
首都圏電工(株)	千葉営業所長	鳥海 剛	260-0843	千葉市中央区末広 3丁目5番7号	043-264-1121 043-264-1126
スズデン(株)	千葉営業所長	小野 晃平	260-0027	千葉市中央区新田町18番地2号 ラフィリア101号室	043-216-2420 043-245-3851
(株)扇港電機	千葉中央 営業所長	原 亮	260-0843	千葉市中央区末広 4丁目21番5号	043-209-6701 043-209-6702
東芝電材マーケティング(株)	首都圏支店 支店長	佐藤 安行	263-0005	千葉市稲毛区長沼町 127番1号	043-257-1048 043-257-6148
トシン電機(株)	千葉営業所長	三國 敦司	264-0036	千葉市若葉区殿台町 124番地1号	043-253-4631 043-253-1319
戸部電材(株)	千葉営業所長	小山 勝彦	262-0032	千葉市花見川区幕張町 1丁目7780番2	043-273-6407 043-273-6414
パナソニック電材システム(株)	千葉営業所長	石塚 彰	263-0031	千葉市稲毛区稲毛東 6丁目7番30号	043-301-9301 043-301-9358
日立金属商事(株)	電設営業部長	谷口 俊彦	260-0016	千葉市中央区柴町42番11号 日本企業会館7F	043-223-6631 043-223-0013
ミツワ電機(株)	特設営業部 特設第二営業所営業六課長	竹田 尚高	263-0034	千葉市稲毛区稲毛 1丁目13番14号	043-245-2300 043-244-4383
渡辺パイプ(株)	千葉電工サービス センター所長	今村 知由	260-0001	千葉市中央区都町 3丁目16番3	043-214-0631 043-231-9318
岡田電気産業(株)	千葉中央営業所 千葉県担当部長	坏 卓美	262-0013	千葉市花見川区横橋町219番地の2	043-215-3511 043-258-5532

弱電部門

会社名	代表者名		郵便番号	所在地	電話 F A X
アイホン(株)	千葉営業所長	中村 寿生	262-0033	千葉市花見川区幕張本郷 2丁目41番3	043-271-6811 043-271-6825
アオバ通信(株)	代表取締役	岩崎 良昭	264-0028	千葉市若葉区桜木 6丁目21番地15号	043-232-1220 043-231-9099
(株)千歳防災社	代表取締役	田中 孝治	264-0017	千葉市若葉区加曾利町 934番地の6	043-214-5685 043-214-5817
千葉アンテナ工事(株)	代表取締役	矢野 喜愛	260-0832	千葉市中央区寒川町 1丁目214番地	043-224-4331 043-224-7907
ニッタン(株)	千葉支店長	柳川 浩	262-0033	千葉市花見川区幕張本郷 5丁目12番5号	043-275-7576 043-275-0140
能美防災(株)	千葉支社長	村井 昭之	260-0821	千葉市中央区若草 1丁目2番12号	043-266-0331 043-266-0344
ホーチキ(株)	千葉支社長	坪井 由明	260-0013	千葉市中央区中央1丁目11番1号 千葉中央ツインビル10F	043-223-5533 043-223-5534
宮川電気通信工業(株)	代表取締役	宮川 欣丈	260-0018	千葉市中央区院内 1丁目2番1号	043-225-1311 043-222-1330

照明部門

会社名	代表者名		郵便番号	所在地	電話 F A X
岩崎電気(株)	千葉営業所長	荻野 功	260-0834	千葉市中央区今井 3丁目14番2号	043-264-6355 043-263-5761
東芝ライテック(株)	千葉営業所長	内田 利之	140-8660	東京都品川区南品川2丁目2番13 南品川JNビル7F	03-5479-3476 03-5479-6036
パナソニック(株) エコソリューションズ社	千葉電材 営業所長	吉田 貴城	261-7133	千葉市美浜区中瀬2丁目6番地 WBGマリブウエスト33F	043-297-5531 043-297-6101

産業廃棄物処理部門

アール・マテリアルズ(株)	代表取締役	新堀 克則	285-0807	佐倉市山王2丁目67番地2	043-481-2022 043-481-2033
---------------	-------	-------	----------	---------------	------------------------------

広告掲載ご協力会社

会社名	代表者名		郵便番号	所在地	電話 F A X
ミューテクノ(株)	千葉営業所長	坂本健一郎	260-0024	千葉市中央区中央港2丁目5-12	043-302-9811 043-302-9813
ヤマト電機(株)	千葉営業所長	藤 浩一郎	260-0028	千葉市中央区新町22-20	043-238-0111 043-238-0133

……ありがとうございました……

第31回通常総会 並びに 創立50周年記念式典開催

平成27年5月29日に千葉市内のホテルポートプラザちばに於いて第31回通常総会及び(協)千葉電設協会 創立50周年記念式典が開催されました。

第31回通常総会については午後3時より組合員47名(委任状含む)出席のもと開催されました。

議案審議では、「第1号議案 平成26年度事業経過報告並びに承認の件」、「第2号議案 平成26年度収支決算報告並びに監査結果報告承認の件」、「第3号議案 平成27年度事業計画(案)承認の件」、「第4号議案 平成27年度収支予算(案)承認の件」、「第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件」の5議案について審議をされ、すべての議案について、全会一致で可決承認されました。

通常総会后、引き続き、千葉市都市局建築部建築設備課より、建築設備課の事務分担について、入札・契約制度の改正等について、工事に関する変更点等について、本年度事業等の概要について説明会が行われました。

総会、行政説明会終了後、会場をホテル2階に移し、午後6時より、千葉市や外郭団体幹部、千葉市元幹部職員、千葉県中小企業団体中央会、関係団体、関係者のご来賓をお招きして、組合員、賛助会員と共に100名出席のもとで、創立50周年記念式典及び祝賀会が盛大に開催されました。

創立50周年記念式典 開会の辞において田中専務理事は、第31回通常総会が無事に終了したこと、自身が3期 6年間務めてきた理事長を退任したことを報告しました。さらに、新しく第6代目の理事長に小川力氏が就任したこと、自身が専務理事としてバックアップしていく決意を語り、改めて千葉市の発展へ貢献していく姿勢を示しました。

続いて、主催者として挨拶に立った小川理事長は、50年間の歴史を支えてきた歴代

理事長や役員、多くの関係者へ敬意と感謝の意を示すとともに、「この先25年、50年と活動が続けられるよう、さらに精進していきます」と今後の抱負を語り、会員、賛助会員、行政関係者への協力を求めました。

ご来賓からは熊谷俊人市長と千葉県中小企業団体中央会の藤原専務理事よりご挨拶を頂戴しました。

熊谷市長は、「業界の声を取りまとめ、行政に届ける仕事は非常に大変だが、その声が入札制度や現場の環境改善、災害時の対応等に役立っている」と歴代役員の功績に改めて敬意を表していただき、今後も意見交換会等を通じて、官民の連携を強化していきたいと望まれました。

また、学校施設の耐震化事業が概ね完了したことについても触れられ、「これからは施設の老朽化対策やトイレの改修、エアコンの設置などを進めていく」との方針を示し、会員企業への貢献の期待を述べられました。

さらに、エネルギー動向など社会状況が大きく変化する中、千葉電設協会の持つ高い技術を生かせる場を増やし、ともに発展していきたいと述べられました。

主催者及びご来賓の挨拶に続き、(協)千葉市電設協会の発展にご尽力いただいた協会員5名、賛助会員2名の方を表彰しました。

受賞者を代表して、第3代目理事長を務められた、(株)光栄電設工業 好地宏氏が謝辞を述べられました。謝辞では、昭和40年に任意団体として発足した(協)千葉電設協会の前身である、“千葉電友会”の頃からの歴史を交えてお話を頂き、「小川理事長を中心に一致団結し、業界と千葉市の発展に貢献してほしい」と後進の活躍に期待を寄せられました。

続いて開かれた祝賀会では、千葉市都市局建築部長 池田様のご発声による乾杯の後、華やかな祝宴に移ると、協会員は50年の足跡を懐かしむとともに、会員相互の交流を深めました。

祝賀会は午後8時30分に盛会裡に終了いたしました。

いなげの浜 清掃ボランティア活動 参加報告

去る、平成27年7月11日（土）に千葉市の建設関連5団体が共済する恒例の「いなげの浜清掃ボランティア活動」が開かれました。

当協会としても7回目の参加となりました。冒頭で千葉市建設業協会杉田会長の挨拶があり、千葉県建設業協会・船越支部長のお話につき、熊谷俊人市長より「人工砂浜を生かした海辺の町づくり施策や憩いの空間として、誇るべき空間」をめざす本活動に対する感謝のお言葉を頂きました。

清掃範囲は、第1堤防（東京側）から第2堤防（千葉側）の海岸と石積防波堤部分を対象に、散乱しているペットボトル・空き缶・空き瓶・流木等を回収、危険物の撤去を行いました。重機もユニック車4台、ダンプ車6台、タイヤショベル3台、軽トラック5台を使用し、流木等の処理にチェーンソー4台も使用しました。

今年のいなげの浜は前日までの大雨で例年以上に漂着物や海藻等も多く、最終的に回収されたゴミは2tダンプ35台分と前年を大幅に上回る量でした。

また今年も、清掃ボランティアとは別に公園へ来場されている方々への配慮として来場者の通行スペースにカラーコーン等を設置し、使用重機（ユニック車やダンプ車）との区別をはかり安全確保が出来たと思います。

当日は台風の心配をよそに快晴でしたが、作業途中での給水等の熱中症対策も万全に行い、(協)千葉電設協会からは、大人73名、子供4名 計77名が参加し、全員が無事に作業を終了する事が出来ました。

お忙しい中参加してくださいました皆様、ご協力有難うございました。

第36回 九都県市合同防災訓練 千葉市会場 参加報告

首都直下型地震を想定した九都県市合同防災訓練が、平成27年8月30日に千葉市会場(千葉工業大学グラウンド)で開かれました。

近年は、残暑が厳しい中、汗をたくさん掻きながらの訓練が続いておりましたが、今年は、秋の気配を感じるような小雨の中、58機関約550人が、約2時間にわたり本番さながらの訓練に取り組みました。

当協会は、千葉市との防災協定に基づき、会場内に災害対策本部を設置し、災害対策本部長の小川理事長を中心に、災害対策連絡網による情報伝達訓練及び、現地調査訓練(出動)を実施しました。

流れとして、午前9時55分、千葉市より災害本部長に指令伝達要請の連絡が入り、訓練を開始。組合員は、災害対策連絡網により指令内容を伝達し、今年度は約30分ほどで情報伝達訓練が完了。

組合員は、それぞれ各社の担当者へ伝達の後、指定された地域訓練会場の現地調査(写真撮影)へ出動し、訓練は終了。

また、会場・展示体験コーナーにおいて、当協会の展示ブースを設置し、過去の訓練や防災活動等の写真の展示、富田副理事長 力作の自転車型発電機Ver. 3による人力発電の体験コーナーを設けました。

今年は、人力発電により扇風機を動かすのに、どれだけのエネルギー(体力)が必要か、市民の皆様体験していただきました。体験した多くの子供たちから、電気は大切なんだという声を聴きながら贅沢になっている子供たちに“ありがたさ”と“大切さ”と“どうしてなのか”を今後どのように伝えていくか考えている所です。

また、千葉工業大学が開発したレスキューロボット『Sakura』は、毒・劇物が漏えいし、多数の負傷者が発生しているという想定現場に進入し、搭載されたカメラで人命捜索をする訓練をしていました。

『Sakura』のような、ロボットが多く開発され、実際に現場で訓練を見て、人が立ち入ることが困難な場所での救出活動や情報収集を担うロボットに絶大なる期待と重要性を再認識致しました。

いつ災害がおこるか分かりません。訓練以上のことは災害時にはできないということがないよう、日頃の訓練や意識を高め実際におきた災害時に、被害や混乱を最小限におさえられるよう心掛けたいものです。今年も、非常に身の引き締まる訓練でした。

ゴルフコンペ開催

近年は、気持ちのよい天気が続いており参加者の皆様は楽しくプレーしております。

満足のいくスコアでラウンド出来たかと思いますが、悔いの残る方は次回またがんばって頂きたいと思っております。

年間3回開催しています。最近では若い方の参加も増えていきますので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第83回 (H26. 12. 18) 「千葉カントリー倶楽部」参加者16名

氏名	OUT	IN	GROS	HCP	NET	
成田 佑子	48	49	97	24.0	73	優勝
山本 勝生	47	49	96	22.8	73.2	準優勝
中川 誠	44	44	88	14.4	73.6	3位
増田 健	44	46	90	15.6	74.4	
鎌田 秀敏	45	43	88	13.2	74.8	

第84回 (H27. 4. 21) 「千葉夷隅ゴルフクラブ」参加者12名

氏名	西	東	GROS	HCP	NET	
片岡 達雄	42	43	85	10.8	74.2	優勝
宍倉 信尊	45	53	98	22.8	75.2	準優勝
小山 嘉一	42	48	90	14.4	75.6	3位
有川 昭男	44	47	91	14.4	76.6	
久保 昭雄	53	44	97	19.2	77.8	



事務局だより

◆住所変更

(賛助会員)

H27. 4月 東芝ライテック 株式会社

(新) 東京都品川区南品川2丁目2番13号

南品川JNビル7階

〈TEL〉 03-5479-3476

〈FAX〉 03-5479-6036

千葉営業所長

内田利之氏

(旧) 千葉市中央区問屋町5丁目17番

千葉営業所グループ長

宮本浩嗣氏

◆社名変更

(賛助会員)

H27. 4月 (新) 日立金属商事 株式会社

千葉市中央区栄町42番11号 日本企業会館7階

〈TEL〉 043-223-6631

〈FAX〉 043-223-0013

電設営業部長

谷口俊彦氏

(旧) 日立電線商事 株式会社

千葉営業所長

谷口俊彦氏

◆代表者変更

(組合員)

H27. 4月 昌信電機工事 株式会社

(新) 代表取締役

宍倉信尊氏

(旧) 代表取締役

宍倉昌信氏

(賛助会員)

- H27. 4月 アイホン 株式会社
(新) 千葉営業所長 中村 寿生 氏
(旧) 千葉営業所長 久田 浩啓 氏
- H27. 4月 岩崎電気 株式会社
(新) 千葉営業所長 荻野 功 氏
(旧) 千葉営業所長 矢田 慎一郎 氏
- H27. 4月 東芝電材マーケティング 株式会社
(新) 首都圏支店支店長 佐藤 安行 氏
(旧) 千葉北営業所長 夏目 卓夫 氏
- H27. 4月 首都圏電工 株式会社
(新) 千葉営業所長 鳥海 剛 氏
(旧) 千葉営業所長 梅田 高由 氏
- H27. 4月 ミツワ電機 株式会社
(新) 特機営業部特機第二営業所営業六課長 竹田 尚高 氏
(旧) 特機営業部特機第二営業所長 榑 忠 氏
- H27. 4月 渡辺パイプ 株式会社
(新) 千葉電工サービスセンター所長 今村 知由 氏
(旧) 代表取締役社長 渡辺 元 氏
- H27. 6月 大崎電気システムズ 株式会社
(新) 代表取締役社長 山口 裕之 氏
(旧) 取締役営業本部長 山口 裕之 氏

■ 訃報

当協会 2代目理事長岩崎興二氏(享年81歳)が平成27年6月3日永眠されました。
謹んでお悔やみ申し上げますとともに心よりご冥福をお祈り申し上げます。

入札結果報告

H26. 11. 1～H27. 8. 31

単位：千円

入札年月日	発注先	工 事 件 名	落 札 者	落札金額
H26. 11. 7	千葉市	千葉市立花島小学校屋内運動場耐震補強電気設備工事	聖 電 社	7,517
11. 12	〃	QVCマリンフィールドトイレ改修電気設備工事(その4)	ヒカル電気工業	6,561
11. 4	千葉市 (病院局)	千葉市立青葉病院救急棟増築外電気設備工事(総合評価)	橋 本 電 業 社	85,000
11. 21	千葉市	大膳野町誉田町線道路照明灯設置工事(26-1)	金高電設工業	3,800
11. 21	〃	誉田駅北口線道路照明灯設置工事(26-1)	大秋電気工業	23,000
11. 21	〃	千葉市白旗保育所照明改修工事	旭 電 工	985
11. 14	〃	千葉市立新宿小学校高压幹線設備改修工事	美 寿 丸 電 設	1,750
12. 3	〃	塩田町40号線外1道路照明灯設置工事(中26-1)	小原電気商会	2,600
12. 12	〃	千葉市立白井中学校管理・普通教室棟特別教室改修電気設備工事	千 秋 電 気	13,210
12. 12	〃	千葉市立真砂東小学校非常用給水施設設置電気設備工事	黒田電気商会	5,654
12. 12	〃	おゆみ野東南部3号線外3道路照明灯設置工事	京 葉 工 業	3,495
H27. 2. 13	〃	花島公園緑園ゾーン整備工事	大 東 電 設	6,510
3. 20	〃	千葉市立金沢小学校外1校屋内運動場非構造部材等耐震対策外電気設備工事	増田電気工業所	14,830
3. 20	〃	千葉市立誉田中学校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備工事	環 境 テ ク ノ ス	14,000
4. 3	〃	千葉市稲毛消防署外1か所庁舎改修電気設備工事	京 葉 工 業	3,597
5. 29	〃	千葉市立土気南小学校外1校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備外工事	アイシン電気工事	19,250
6. 12	〃	千葉市立大椎中学校外2校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備工事	栄 電 社	34,659

入札年月日	発注先	工 事 件 名	落 札 者	落札金額
6.19	〃	千葉市立泉谷小学校外1校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備外工事	北 園 電 業	20,003
6.19	〃	千葉市立西の谷小学校外1校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備外工事	成 田 電 機	17,470
6.19	〃	千葉市立椎名小学校外1校校舎非構造部材等耐震対策外電気設備工事	千 葉 電 建	14,800
6.19	〃	千葉市立越智小学校校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備外工事	京 葉 工 業	10,096
6.19	〃	千葉市立生浜中学校校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備外工事	旭 電 工	8,689
6.19	〃	千葉市立松ヶ丘中学校外3校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備工事	小 峯 電 業	35,915
6.19	〃	千葉市立花園中学校外2校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備工事	新 千 葉 電 設	26,140
6.26	〃	千葉市立緑町小学校校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備工事	大越通信電設	3,400
6.30	〃	(仮称)高洲市民プール体育館改築電気設備工事(総合評価)	E & Eシステム	60,000
7.11	〃	千葉市立有吉中学校外1校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備工事	千 葉 電 建	18,100
7.14	〃	千葉市美浜区高洲コミュニティセンター空調設備改修電気設備工事(総合評価)	豊 田 電 気	46,300
7.14	〃	千葉市立花見川中学校内外改修外電気設備工事(総合評価)	モ デ ン 工 業	44,500
7.15	〃	千葉市立越智小学校校舎外壁改修外電気設備工事	川 島 電 気 設 備	4,802
7.24	〃	千葉市立海浜打瀬小学校外2校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備工事	環 境 テ ク ノ ス	23,100
7.24	〃	千葉市立打瀬小学校外1校屋内運動場非構造部材等耐震対策外電気設備工事	千 秋 電 気	20,461
7.24	〃	千葉市立千城小学校外2校屋内運動場非構造部材等耐震対策電気設備工事	木 村 建 設	23,000
7.23	〃	千葉市幕張公民館空調設備改修電気設備工事	小原電気商会	7,000
8.18	〃	蘇我勤労市民プラザ大規模改修電気設備工事	高率・石本JV	2億03,000
8.18	〃	稲毛区役所空調設備改修電気設備工事	昌信電機工事	27,000

新商品の流通を創造する...

- 照明器具
- 太陽光発電システム
- 電線・ケーブル
- オール電化商品
- 端末処理材料
- 配管・電路資材
- 受配電設備機器
- 分電盤・開閉器
- 配線器具
- 通信・音響・映像機器
- TV共聴機器
- 防犯・防災設備
- OA機器
- 電話機器
- 換気・空調設備機器
- 住宅設備機器
- 設備設計
- 計測器・工具
- 避雷機器
- 電柱



電設資材の総合商社

ミツバ電機株式会社

代表取締役社長 **滝澤健雄**

本社：東京都中央区東日本橋2丁目26番3号 [〒103-0004]

TEL：03(3862)1111(大代表)

FAX：03(3864)1133

省エネルギー・エコロジー

電設資材総合卸



- ◆省資源・衛生・環境・健康高齢化対応システム ◆防災・セキュリティシステム
- ◆受・配電・制御システム ◆送電・配線・電路システム
- ◆情報・通信システム ◆照明・冷暖房・空調システム

株式会社 扇港電機

関東電材営業部

関東電材営業本部 〒262-0045 千葉市花見川区作新台4丁目13番12号
TEL (043)257-4262 FAX (043)257-4530

千葉西営業所 〒262-0045 千葉市花見川区作新台4丁目13番12号
TEL (043)257-4700 FAX (043)257-4264

千葉中央営業所 〒260-0843 千葉市中央区末広4丁目21番5号
TEL (043)209-6701 FAX (043)209-6702

東都営業所 〒273-0047 千葉県船橋市藤原3丁目36番45号
TEL (047)429-7800 FAX (047)429-7801

北総営業所 〒285-0927 千葉県印旛郡酒々井町酒々井1604番地の1
TEL (043)496-2661 FAX (043)496-6940

旭営業所 〒289-2531 千葉県旭市井戸野字大島359番地
TEL (0479)63-7691 FAX (0479)63-2829

技術営業推進部関東 〒260-0843 千葉市中央区末広4丁目21番5号
TEL (043)209-6725 FAX (043)209-6726

☆トシングループはお客様の営業活動を応援します
「首都圏に広がるグループ108拠点のネットワーク」

大好評の「トシンで安心シリーズ」

高額な工具の購入に！

第12弾

トシン・グループ工具ローン

- ★4万円以上の工具購入に便利なオリジナルローン
- ★6～24回までの分割払いが可能
- ★1回のお支払いは5,000円以上から
- ★審査はお申込を頂いてから原則3日
- ★もちろん1年間の盗難保険つき

盗難被害多発で大好評

安心シリーズ第2弾・3弾
1年間の盗難保険付工具

日本ヒルティの電動工具・
パナソニックの充電工具は、
お買上げ後1年以内の
盗難被害であれば新しい
工具をお手元にお届けします

第13弾

トシンGライフカードがバージョンUP！

トシンGライフカードプレミアム

第4弾

トシンG
ライフカード

- ・死亡保険
- ・後遺傷害保険
- ・入院保険
- ・手術保険

NEW

トシンG
ライフカード
プレミアム

トシンGライフカードの保険
さらに+α

- ◆施設賠償責任保険
- ◆個人賠償責任補償特約

+αの補償内容

- ★自分がけがをしたときの費用だけでなく他の人や物に損害を与えた場合も補償
- ★自転車による加害事故での賠償金も最大100万円まで対応



千葉営業所 千葉市若葉区殿台町124-1 Tel.043-253-4631

中央営業所 千葉市中央区都町2-19-7 Tel.043-234-6981

TOSHIN GROUP

トシン電機株式会社

Electronics solution

常に次世代を考えた提案営業、経営理念で業界をリード



戸部電材株式会社



電気設備資材
太陽光発電・蓄電システム
住宅設備・建材
テレビ監視システム

空調設備機器
省エネ設備機器
受配電設備機器
通信設備機器

■本社 〒 989-2423 宮城県岩沼市押分字南谷地86-5
TEL 0223-25-6701

■営業所

仙台第一営業部 TEL 022-238-9930
仙台第二営業部 TEL 022-238-9933
仙台南営業所 TEL 022-382-5241
仙台北営業所 TEL 022-375-3923
大河原営業所 TEL 0224-52-3405

古川営業所 TEL 0229-23-4201
石巻営業所 TEL 0225-23-0108
迫営業所 TEL 0220-22-3786
気仙沼営業所 TEL 0226-22-2328
大船渡営業所 TEL 0192-21-2202

水沢営業所 TEL 0197-24-7184
花巻営業所 TEL 0198-24-2447
北上出張所 TEL 0197-62-0821
盛岡営業所 TEL 019-637-4567

福島営業所 TEL 024-553-8551
福島西営業所 TEL 024-544-6228
郡山営業所 TEL 024-937-2462

相馬営業所 TEL 0244-35-6350
原町営業所 TEL 0244-23-6106

いわき営業所 TEL 0246-76-1055

水戸営業所 TEL 029-354-6610
石岡営業所 TEL 0299-27-6600

山形営業所 TEL 023-647-6678
米沢営業所 TEL 0238-23-5541
鶴岡営業所 TEL 0235-29-9988
酒田営業所 TEL 0234-21-0251

千葉営業所 TEL 043-273-6407
横浜営業所 TEL 045-810-1777

■関連会社

(株)エポットサービス TEL 022-388-9901

Panasonic

倉庫に。工場に。 LEDで電気代 大幅カット。



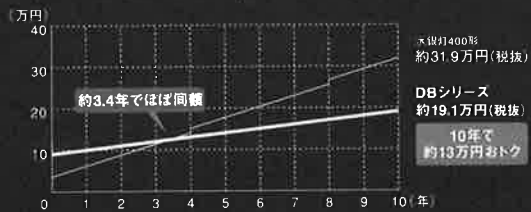
従来水銀灯に比べ、明るさ変わらず消費電力を61%削減。
ランニングコストに大きな差がうまれます。
また、お求めやすい価格でリニューアルにおすすめです。

◎消費電力比較

1台あたりの比較	従来器具水銀灯400形 +一般セット	DBシリーズ 水銀灯400形器具相当
消費電力	415W	約61%削減 160W
年間電気代(税抜)	26,145円	16,065円削減 10,080円
イニシャル コスト(税抜)	35,500円	90,000円
平均照度	263 lx	明るさ同等 269 lx

◎条件:器具取付高さ:8m 計算面高さ:0m 反射率:天井30% 壁30% 床10%

◎トータルコスト比較(1台あたり)



LED高天井用照明器具 DBシリーズ

電源別器具

※従来器具 当水銀灯400形器具(ランプ HF400X:5,100円+安定器 Y240121411:511 | 200V | 20,200円+ホルダ YB16854:3,900円+セード YK34380:5,300円)とLED高天井用照明器具【電源別器具】DBシリーズ 水銀灯400形器具相当(LDR140NH:63,000円+専用電源ユニット・NNY28102 LE9:13,500円×2)との比較。4年ごとにランプ交換(ランプ交換人件費:5,000円/個+交換ランプ代:6,100円/個として算出)。表示価格に消費税は含まれておりません。【試算条件】電力料金目安単価:21円/kWh(税抜)、年間点灯時間:3,000時間、設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

お問い合わせ先:パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 マーケティング本部 百都園電材営業部 千葉電材営業所
〒261-7133 千葉県千葉市美浜区2丁目6番1号 WBGマリアウエスト33F TEL 043-297-5531 www2.panasonic.biz/es/lighting/led/

Wonders!
by Panasonic

欲しいものを、

地域に密着したサービス

少量多品種の豊富な品揃え

欲しい時に、

電材のプロがお客様をバックアップ

オンラインシステムでスピーディなお届け

お届けします。

メーカー

幅広い
取り扱い
商品

営業所



本社



KOJIMA
NETWORK

お客様

商品
センター



環境にやさしい生活を応援!

KOJIMAのオール電化研修センター

新商品紹介や商品知識・技術セミナーを随時開催!



〒196-0032 東京都昭島市隠地町3-4-9 TEL.042-543-7311

1都3県を網羅する販売ネットワーク。いつでも、どこでも安心の安定供給が可能です。

東京

荒川営業所 ☎03-3894-5176

江戸営業所 ☎03-3653-9441

墨田営業所 ☎03-3686-5841

足立営業所 ☎03-3880-6421

北営業所 ☎03-3903-1862

板橋営業所 ☎03-3973-1811

中野営業所 ☎03-5377-1281

練馬営業所 ☎03-3998-5402

豊島営業所 ☎03-3984-7491

中央営業所 ☎03-3551-9321

文京営業所 ☎03-3354-3371

成増営業所 ☎03-3938-2411

品川営業所 ☎03-3784-0351

杉並営業所 ☎03-3332-1191

東久留米営業所 ☎042-473-4111

立川営業所 ☎042-544-7301

八王子営業所 ☎042-642-6661

府中営業所 ☎042-369-5111

世田谷営業所 ☎03-3439-6201

大田営業所 ☎03-5763-6211

足立北営業所 ☎03-3853-7051

目黒営業所 ☎03-5496-8061

町田営業所 ☎042-792-3651

青葉営業所 ☎042-795-0191

電設1課 ☎03-3894-3701

電設2課 ☎03-3894-3701

開発営業課 ☎03-3894-1941

埼玉

川口営業所 ☎048-433-4811

浦和営業所 ☎048-857-3101

越谷営業所 ☎048-966-8822

春日部営業所 ☎048-761-2511

川越営業所 ☎049-225-4040

志木営業所 ☎048-474-4621

久喜営業所 ☎0480-58-8021

所沢営業所 ☎04-2928-4711

川口北営業所 ☎048-881-3131

八潮営業所 ☎048-995-0571

大宮営業所 ☎048-652-8411

鴻巣営業所 ☎048-541-7911

ハウジング営業所 ☎048-853-9571

千葉

松戸営業所 ☎047-344-2161

船橋営業所 ☎047-466-2191

市川営業所 ☎047-370-1591

千葉営業所 ☎043-254-5721

千葉北営業所 ☎043-424-2711

鎌ヶ谷営業所 ☎047-442-3961

商品センター ☎047-370-1401

神奈川

高津営業所 ☎044-755-2731

港北営業所 ☎045-473-9183

横浜営業所 ☎045-242-7001

麻生営業所 ☎044-988-7261

旭営業所 ☎045-952-5761

川崎営業所 ☎044-541-2001

戸塚営業所 ☎045-851-1701

地域に密着した電設資材の総合商社

KOJIMA

小島電機工業株式会社

<http://www.kojima-denki.co.jp/>

本社：〒114-0012 東京都北区田端新町2-8-11 ☎03-3894-5151 (大代表)

商品センター：〒272-0014 市川市田尻2-3-32 ☎047-370-1401 (代表)

電設資材総合商社



主要営業品目

電線管及び附属品一式・照明器具・配線器具
電線・受変電設備・配電盤・分電盤
空調設備機器・住宅設備機器・通信機器
並びに内外線電気工事材料一式

パナソニック株式会社代理店

首都圏電工株式会社

URL : <http://denkogroup.jp/sd>

本社	東京都豊島区要町3-36-8	TEL. 03(3959)5201(代)
多摩支社	東京都三鷹市野崎1-12-27	TEL. 0422(76)5112(代)
千葉営業所	千葉市中央区末広3-5-7	TEL. 043(264)1121(代) FAX. 043(264)1126
成田営業所	富里市日吉倉4-7-2	TEL. 0476(93)5111(代) FAX. 0476(93)5115
茂原営業所	茂原市木崎2-7-9-1	TEL. 0475(22)5181(代) FAX. 0475(22)5881
君津営業所	君津市中富1-0-5-3-8	TEL. 0439(54)8111(代) FAX. 0439(54)8088
柏営業所	柏市西原7-1-3	TEL. 04(7178)5511(代) FAX. 04(7178)5005
北関東営業所	柏市西原7-1-3	TEL. 04(7178)5511(代) FAX. 04(7178)5005
首都圏特機営業所	東京都墨田区向島2-2-5	TEL. 03(3624)4331(代) FAX. 03(3624)2566
池袋・施設開発・練馬	東京都豊島区要町3-36-8	TEL. 03(3955)8141(代) FAX. 03(3955)8152
武蔵野・三鷹・広域(営)	東京都三鷹市野崎1-12-27	TEL. 0422(76)5120(代) FAX. 0422(76)5340
エンジニアリング推進部	東京都三鷹市野崎1-12-27	TEL. 0422(76)5117(代) FAX. 0422(76)5127
東大和営業所	東京都東大和市清水6-1-13-8-2	TEL. 042(590)0325(代) FAX. 042-563-7350
東久留米営業所	東京都東久留米市八幡町2-13-29	TEL. 0424(75)5550(代) FAX. 0424(75)2490

電設資材総合卸商社

ヤマト電機株式会社

取扱商品・・・照明器具、電線、電線管及び付属、配線器具、高低圧配電機器、
電柱及びコンクリート製品、情報通信視聴覚共聴機器、空調・換気・
送風機器、環境機器その他

千葉営業所 〒260-0028 千葉県千葉市中央区新町 22-20
TEL 043-238-0111 FAX 043-238-0133

本 社 〒179-0074 東京都練馬区春日町 2-14-8
TEL 03-3970-6611 FAX 03-3970-6430

【 営 業 所 】

特需営業所	東京都練馬区春日町 2-14-8	TEL 03-3970-6711	FAX 03-3970-6734
通信営業所	東京都練馬区春日町 2-14-8	TEL 03-3970-6711	FAX 03-3970-6734
文化商業施設営業所	東京都練馬区春日町 2-14-8	TEL 03-3970-6474	FAX 03-3970-6638
ハウジング営業所	東京都練馬区春日町 2-14-8	TEL 03-3970-7511	FAX 03-3970-7512
杉並営業所	東京都練馬区春日町 2-14-8	TEL 03-6891-0211	FAX 03-6891-0212
練馬営業所	東京都練馬区高野台 2-4-14	TEL 03-3996-7511	FAX 03-3996-6561
東営業所	東京都荒川区東日暮里 2-45-7	TEL 03-6863-2111	FAX 03-6863-2112
北営業所	東京都北区上十条 4-20-7	TEL 03-3905-7511	FAX 03-3905-7778
中央営業所	東京都渋谷区代々木 4-27-25 2階	TEL 03-6859-3811	FAX 03-6859-3812
城南営業所	東京都世田谷区桜上水 1-6-3	TEL 03-5374-3411	FAX 03-5374-8818
渋谷営業所	東京都目黒区中目黒 4-15-7	TEL 03-5773-6411	FAX 03-5773-6415
みなと営業所	東京都港区海岸 2-1-16 5階	TEL 03-6891-2211	FAX 03-6891-2212
大田営業所	東京都大田区池上 4-15-16	TEL 03-3752-4511	FAX 03-3752-4255
足立営業所	東京都足立区梅島 2-22-10	TEL 03-3852-5311	FAX 03-3852-5400
江戸川営業所	東京都江戸川区篠崎町 4-27-9	TEL 03-3698-7211	FAX 03-3698-7240
江東営業所	東京都江東区枝川 2-17-12	TEL 03-5653-1911	FAX 03-5653-1912
武蔵野営業所	東京都武蔵野市西久保 3-26-5	TEL 0422-55-4511	FAX 0422-55-6213
府中営業所	東京都府中市府中町 3-3-10	TEL 042-369-6511	FAX 042-369-5080
西多摩営業所	東京都羽村市小作台 5-29-5	TEL 042-847-3911	FAX 042-847-3917
八王子営業所	東京都八王子市散田町 4-11-14	TEL 042-669-3711	FAX 042-669-3712
さいたま営業所	埼玉県さいたま市南区曲本 1-1-32	TEL 048-866-1211	FAX 048-866-2348
川越営業所	埼玉県川越市かし野台 2-17-8	TEL 049-211-4511	FAX 049-211-4512
川口営業所	埼玉県川口市新井町 25-21	TEL 048-227-5411	FAX 048-227-5415
さいたま北営業所	埼玉県さいたま市南区曲本 1-1-32	TEL 048-615-3711	FAX 048-615-3460
相模原営業所	神奈川県相模原市中央区千代田 7-13-8	TEL 042-769-4111	FAX 042-769-5069
横浜営業所	神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢上町 6-6	TEL 045-316-6111	FAX 045-316-6196
船橋営業所	千葉県船橋市夏見台 1-9-28 1階	TEL 047-774-1511	FAX 047-774-1512
大阪営業所	大阪府東大阪市長田中 2-2-10	TEL 06-7711-6111	FAX 06-7711-6112
仙台営業所	仙台市若林区六丁の目南町 4-31 2階	TEL 022-380-9811	FAX 022-380-9812

電線・銅・ステンレス・アルミ
非鉄金属高価買取

その他取扱品目

トランス/キュービクル/モーター/安定器/給湯器
ガスメーター/水道メーター/エアコン/空調冷媒管

産業廃棄物収集運搬(千葉県・東京都)

古物商

(千葉県公安委員会第 441100002106 号)

アール・マテリアルズ(株)

千葉県佐倉市山王 2-67-2(佐倉南図書館斜め向かい)

TEL043-481-2022 / Fax043-481-2033

URL <http://r-materials.com>

E-mail info@r-materials.com

LED高天井用照明器具 電源併置形

LEDiOC レディオック ハイ ベイ アルファ

HIGH-BAY α

new

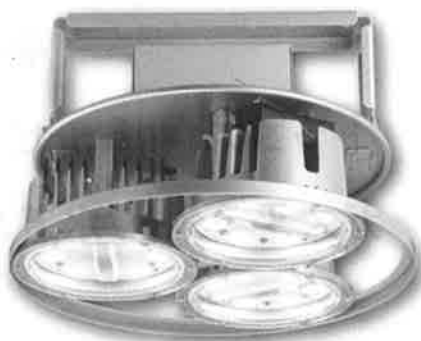
**全50通りのバリエーション、
手軽な価格でコストダウン!**

一時的に+50℃までの
周囲環境で使用可能

消費効率(最大)
140.5lm/W

シスプル
CISPR15対応
※ノイズに関する国際規格

調光可能
※初期照度補正機能なし



防水LEDラインユニット照明器具

LEDiOC レディオック マルチ ライン

MULTI LINE

new

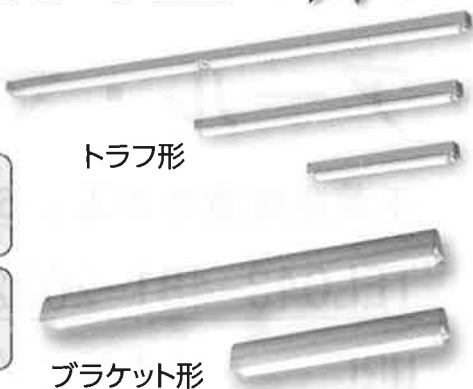
**屋外や工場などの厳しい
環境下でも省エネに貢献!**

一時的に+60℃までの
周囲環境で使用可能

保護等級IP44
(防沫形)

シスプル
CISPR15対応
※ノイズに関する国際規格

耐雷サージ
15kV



IWASAKI

千葉営業所

〒260-0834 千葉市中央区今井3-14-2 クレスト蘇我1F

TEL 043(264)6355 FAX 043(263)5761

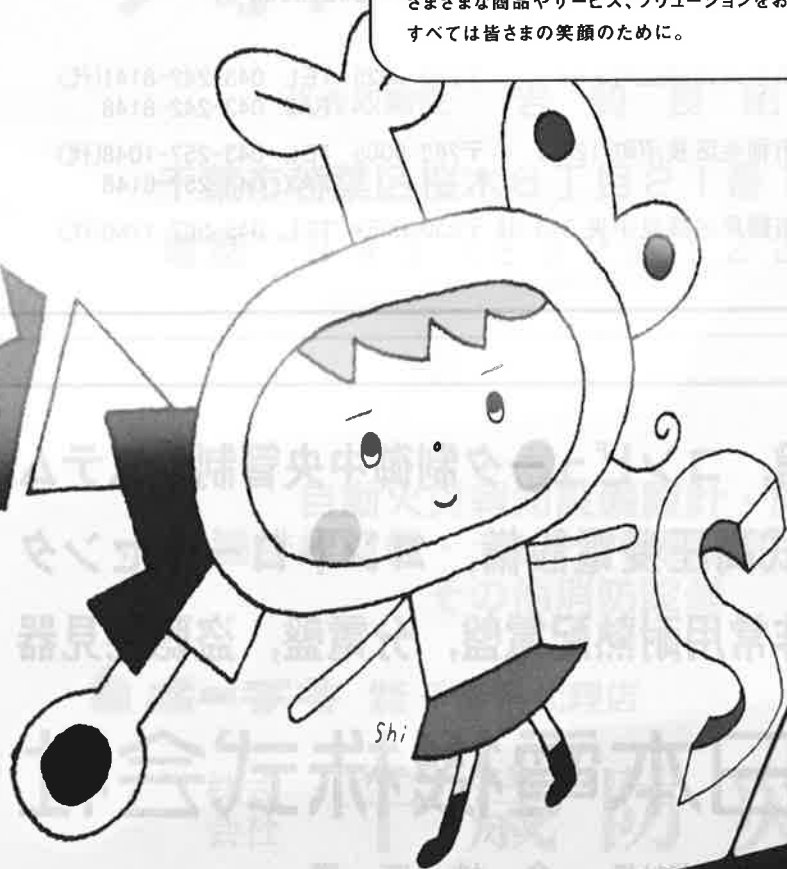
<http://www.iwasaki.co.jp/>

岩崎電気株式会社

SEDIA
SYSTEM

みんなの笑顔のために。

お客さまやお取引先さま、地域の方々に笑顔になって頂けるよう、
さまざまな商品やサービス、ソリューションをお届けしています。
すべては皆さまの笑顔のために。



渡辺パイプ株式会社

業務内容：管工機材、住宅設備機器、電線資材、配管資材、土木資材、農業資材の販売、並びに企画、設計。
本社 〒106-0045 東京都中央区築地5-6-10 渡辺パイプ株式会社6階15号 TEL:03-3549-3111
<http://www.sedia-system.co.jp>



ミューテクノ株式会社

千葉営業所 〒260-0024 千葉市中央区中央港2-5-12
TEL 043-302-9811

これからの快適環境をみなさまに

電設資材のすべての領域を網羅する商品体系を確立
総合設備商社ならではのトータル・コーディネートをご提案します。

弊社は、電設資材の総合設備業者として、平成24年の設立以来「これからの快適環境をみなさまに」をモットーにお客様のお役立ちを常に考え取り組んでおります。

私どもは、電設資材のリーディングカンパニーであるミツワ電機グループの一員として、電設資材すべての領域を網羅する商品体系を確立しております。

また、1都3県の拠点ネットワークにより、広範囲な商品供給体制を整えており、きっと、みな様のお仕事のお役に立てるものと自負しております。これからも、付加価値の高いサービス提供を心掛けて参りますので何とぞよろしくお願い申し上げます。

“OA・通信ネットワークの相互コンサルタント”

NTT 特約販売店・日立・松下特約店

デジタル交換機・デジタルボタン電話装置・FAX・コードレスオフィスシステム・
コードレスホームテレホン・各種電話機器・ワープロ・パソコン・オフィスコンピューター・通信・情報機器の販売・設計・据付・保守



MIYAKAWA
ELECTRIC & TELE
COMMUNICATION

宮川電気通信工業(株)

☎(043) 225-1311 (大代表)

千葉市中央区院内1-2-1 FAX (043) 222-1330